

設計・用地説明会が行われます



東関東自動車道との接続地点

圏央道(首都圏中央連絡自動車道)は、都心を中心に東京都・埼玉県・茨城県・千葉県・神奈川県を、東京湾アクアラインと一体となつて環状につなぐ道路です。本市でもその一部が通過し、成田空港への利便性の向上や日本の玄関口としての観光・物流の発展が期待されます。国土交通省千葉国道事務所では具体的な設計案をまとめ、それに基づく説明会を実施します。

本市を走る圏央道

圏央道は木更津・成田・つくば・川越・青梅・八王子・厚木・横浜など地域の核となる都市を結びます。本市では、吉岡で東関東自動車道に合流し、川上で県道44号(成田小見川鹿島港線)と接続します。工事が完了すると、現在すでに利用されている千葉東金道路の松尾横芝インターチェンジまでつながります。

設計案がまとまりました

国土交通省千葉国道事務所では、道路の設計を行うために、平成20年度から路線測量・地質調査を実施し、このときの結果を基に設計案を作成しました。さらに圏央道

が通過する土地と、圏央道によって分断される既設の道路の付け替えなどについて、関係機関と調整を行い、それを反映させた設計案がまとまりました。

設計・用地説明会を行います

国土交通省千葉国道事務所では、地権者と地元の人たちを対象に説明会を行います。今回の説明会では、設計案の内容の説明と、事業が必要となる用地の範囲を提示し、今後のおおよその事業の流れと用地補償のあらましについても説明します。説明会は2回行い、それぞれの説明内容は同じです。

日時

○1回目：10月23日(火)午後7時

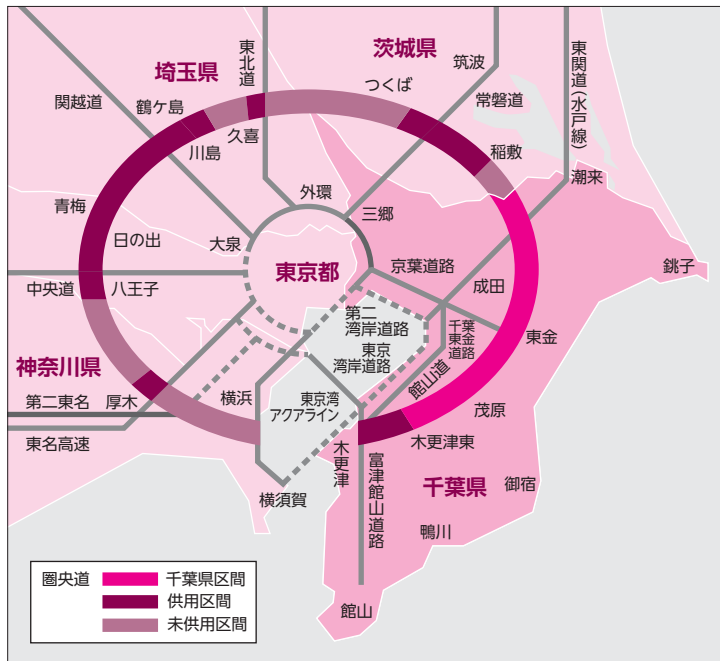


着々と工事が進む「大栄～稲敷」間(芝地先)

※参加を希望する人は当日直接会場へ。くわしくは国土交通省千葉国道事務所調査課(☎043・265・0317)または土木課(☎20・1550)へ。

から(受け付けは午後6時30分から)
 ○2回目:10月28日(日)午後3時から(受け付けは午後2時30分から)
 会場 川上小学校体育館
 対象 興味のある人ならどなたでも参加することができます
 説明会の対象となる地区 十倉、三、吉岡、水の上、新田、多良貝、川上(大栄十余三については、圏央道が通過する予定ですが、設計案が現在調整中のため今回は含まれません。開催日が決まり次第あらためてお知らせします)

全体図



圏央道の計画位置図と説明会対象範囲



圏央道ができるまでの流れ

